

工学部化学システム工学科

学位（教育）プログラム名：化学システム工学

❖ 養成する人材像・教育課程の特色

化学システム工学科は、国内外での化学技術・環境技術に関連する広い分野で活躍できる柔軟な思考力と総合力を兼ね備えた化学技術者を養成することを目標とします。そのため、化学工学や分子工学に関する基礎学力や高度な専門能力が身に付くよう、学生の興味や関心に合わせ、2年次より、化学工業で使用する機器・装置に関する基本的な原理や技術を修得する化学工学コース（日本技術者教育認定機構認定コース）、分子や結晶などの微視的な視点に基づき無機・有機・高分子・生体関連などの物質・材料に関する基礎や技術を修得する分子工学コースを用意しています。いずれのコースも最新の研究成果や実践的な内容を反映させ、情報技術や社会の変化に対応した教育を目指しています。

❖ 求める人材像（求める能力）

● 知識・理解

高等学校の教育内容を幅広く学修し、工学を学ぶに十分な基礎学力を有している人

● 技能

学習や課外活動から得た経験を踏まえて、自らの視点で物事を順序立てて説明することができる人

● 態度・志向性

化学や化学工学に関する専門知識と倫理観を身に付けた化学技術者や環境技術者を目指す人

● その他能力・資質

英語の資格を取得した人、課外活動（体育・文化・ボランティア）で顕著な成果を収めた人

❖ 入学者選抜のねらい

化学システム工学科は、学びや諸活動の中で挑戦し続ける意欲あふれる人材や、多様な背景を持ち、さまざまな能力を有する人材を国内外から広く受け入れます。

そのために、これまでに培われた理科や数学を中心とする基礎学力、活動や経験を通じて身に付けた能力、資質、学ぶ意欲などを、多面的・総合的に評価する多様な入学試験を実施します。